

令和5年度 上尾市立上平北小学校 学校評価

自己評価の評価基準

達成率 A: 90%以上 B: 70%~89% C: 50%~69% D: 49%以下

学校関係者評価の評価基準: 自己評価と同じ評価→自己評価は妥当 自己評価と異なる評価→学校関係者評価委員会としての評価

☆ 今年度の重点

| 領域 | 学校の自己評価 | | | 学校関係者評価 | | |
|---------|---------|--|------|--|----------------|--|
| | | 方策・具体策 | 自己評価 | ■課題◎成果・改善 | 関係者評価 意見・提言 | |
| I 学校運営 | 1 | 学校は、学校教育目標達成に向けて適切な教育活動を行っている。 ・児童一人一人の良さを認め、ほめて伸ばす。 ・たくましく生き抜く自立した人間を育成する。 ・人と人との繋がりを大切に、感動する心を育てる。 | 3.71 | ■人と人とのつながりを大切にしていくなを育てるにはどんな取組が必要なのか。 ■教員自身の伝えるスキルの向上をどう図るのか。 ■児童の学力、体力の向上が、数字として表れない。 ■児童の意欲をどう引き出すか ◎チームワークよく、職員一人一人が、組織の中での自分の位置を確認し、責任感をもって職務にあたれた。 ◎授業研究会、校内研修等を通し、授業スキルの向上を図った。 | A5 B1 | ・よい取組状況だと思う。今後も積極的な取組を期待している。 ・学習の意欲は、指導者の接し方にもよと思う。外遊びは教師も積極的に(忙しいとは思いうが)参加し、子供との距離を縮めてもらいたい。 ・児童は先生をよく見ている。児童に何でも相談されるようになってもらいたい。 |
| | 2 | 学校は「めざす学校像」に向けて、校務分掌等で組織的に対応を図っている。 ・分掌主任として見通しとアイディアをもち、チームワークを発揮し、「チーム上北」として組織力の向上する。 | 3.65 | | A4 B2 | |
| | 3 | 教員は、「めざす教師像」達成をめざしている。 ・自分に厳しく、相手に優しくできる、信頼され、授業で勝負し頼られる教師として、自らの立ち居振る舞いを振り返る。 | 3.76 | | A4 B1 C1 | |
| | ☆4 | 学校は、信頼の向上に努めるため、積極的にマナーアップの実践に取り組んでいる。 ・あいさつ、丁寧な言葉づかいの率先垂範。 ・合言葉メッセージ「明確・誠実・迅速」の対応をする。 | 3.76 | | A5 B1 | |
| II 学習指導 | 5 | 教員は、ICTを活用するなど児童がわかりやすく個に応じたきめ細やかな授業を行っている。 ・クロームブックを効果的に活用する。 ・誰でも活用できるスキルを身に付けさせるため、毎日活用する。 | 3.88 | ■クロームブックを効果的に活用すること。 一低学年にも次年度よりクロームブックが支給予定。活用を図る。 ■クロームブックの活用について、教師によって量の差がある。 ■学習規律の定着に課題がある児童がいる。 ◎生徒指導指導委員会、生徒指導特別委員会での課題共有、情報共有ができた。その都度、組織的な対応ができた。 ■学級会の話し合い活動の指導力の向上。 | A5 B1 | ・よい取組状況と思う。この取組がよりよい成果となることを期待している。 ・NO8は、自己評価が全項目中、一番低い結果。コミュニケーション力は生きていく上で大事な力で力を入れて取り組んでほしい。 ・読書の習慣は向上しているのだろうか。 ・缶バッチを帽子にたくさんつけている児童を見かけるが今はどうだろうか。もらえるという楽しみも一つの意欲向上につながるのではないかと。 ・自分の意見が言えるように回数を重ねることにより、自信もつくとと思う。 |
| | 6 | 学校は、基礎基本の定着、学力向上を目指した教育を行っている。 ・R-PDCAサイクルを意識した学習指導を行う。 ・主体的に対話的な深い学びに通じる授業実践をする。 ・読書の習慣を身に付ける。 ・UDの考え方を実践する。 | 3.76 | | A5 B1 | |
| | 7 | 学校は、学習規律の確立を図る取組を行っている。 ・共通理解、共通行動を徹底する。 ・どの教員でも同じ指導を行う。 ・生徒指導委員会での確認を怠らない。 | 3.82 | | A5 C1 | |
| | 8 | 学校は、話し合い活動の充実が図れるよう取り組んでいる。 ・年間10回以上の学級会 ・自分の意見を持つ力を育成する。 ・折り合いの付け方を学ぶ。 ・計画的に司会グループを体験させる。 | 3.41 | | A4 B2 | |
| III 心の | 9 | 学校は、児童が学校や地域であいさつができるよう指導に努めている。 ・登校指導、一斉下校時での継続的指導を繰り返す。 ・教員から明るいあいさつをする。 ・児童会活動と連携をする。 ・授業の開始、終了のあいさつを丁寧に指導する。 | 3.65 | ■下校時のトラブルを児童が主体的になつてトラブルを起こさないような動きをどう指導していくか。 ◎生徒指導委員会で情報を共有し、組織で対応した。 ◎下校時の解除については、次年度に向けて検討中である。 PTAや学校運営協議会委員の意見も踏まえながら、子供たちの安全を第一に進めていく。 | A3 B3 | ・「あいさつ指導」は大変よい成果が見られる。 ・読書については、保護者と児童の間での見解の違いが大きいのが気になる。 ・保護者結果では近所の人への挨拶が「あまりできていない」「できていない」が3割近くあるので指導方法を工夫してみたらどうか。 ・ボランティアの人と登下校であいさつできるように家庭で指導するとよいと思う。 ・明るい挨拶はなかなか難しい。元気に挨拶する児童はごくわずかに見える。登校時はほんの数人から「おはよう」の言葉が返ってくる。毎年、難しい。 ・保護者アンケートでは「進んで読書しているか」の項目で否定的な項目が5割以上となっているので家庭で結果が出るような方策を検討した方がよい。 |
| | 10 | 学校は、ほめる教育を念頭におき、心の教育を推進している。 ・「個別の育成計画」をもとに一人一人の児童の良さに着目し伸ばしていく。 ・全児童の支援を全教員で行う。児童に声がけたことは、必ず担任へ。良さをみつけていく。 | 3.71 | | A5 B1 | |

| | | | | | | | |
|------------------|------------|--|--|---|---|---|--|
| 教育 | ☆ 11 | 学校は、読書活動を計画的に取り入れ、推進している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ブロック別の目標を設定する。 ・週末読書 ・暗唱課題に取り組む。 | 3.65 | <ul style="list-style-type: none"> ■個別の指導育成計画の見直し ◎全児童の支援を全教職員で行っている。場合によっては、教育委員会、児童相談所、教育センターなどの外部機関とも連携し、対応することができた。 ◎教員は、子供たちのよいところについても、こまめに家庭との連絡を取っていた。 | A3 B3 | |
| | IV 健康教育 | 12 | 学校は、児童の体力を向上させるための指導を行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ブロック別の指導計画を立て、確実に技能を向上させる。 ・体育の授業、体育的活動の充実をする。 ・積極的な外遊び（子供も教員も） ・運動委員会の積極的な活動 | 3.76 | <ul style="list-style-type: none"> ■体力向上の取組が成果に結びついていない。児童の体力向上をどう図るか。 ◎新型コロナウイルス感染症防止に係る対応を適切に行えた。 | A4 B2 |
| V 生徒指導 | 13 | 学校は、「上平北小みんなのやくそく」が身に付くよう指導を行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・いつでも「きまり」に戻って確認をする。 ・共通理解・共通行動の徹底。 | 3.75 | <ul style="list-style-type: none"> ■共通理解・共通行動の徹底。 ◎授業のユニバーサルデザインを意識した授業づくりが行えた。 | A4 B2 | <ul style="list-style-type: none"> ・とてもよい取組状況と評価する。 |
| | 14 | 学校は、いじめや不登校などの問題に迅速に対応し、適切に指導している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童がいるときは、児童と共に行動することを徹底する。 ・生徒指導主任への報告を迅速に行う。記憶より記録。 | 3.59 | <ul style="list-style-type: none"> ◎生徒指導委員会、生徒指導特別委員会等を活用し、該当児童の情報を共有し、その都度、対策を講じることができた。 | A2 B4 C1 | |
| | 15 | 教員は、積極的な生徒指導を推進している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインへの配慮をする。 ・まず、目を合わせてあいさつ。 | 3.76 | | A5 B1 | |
| VI 安全教育 | 16 | 学校は、施設設備の点検を定期的に行い安全な環境づくりに努めている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・安心安全な環境を意識し教室等の整備を行う。 ・安全で清潔な教育環境 | 3.88 | <ul style="list-style-type: none"> ■教材費等の金融機関引き落としと効率的な事務処理（職員の負担感の軽減と事故防止の両立。） ◎事務所の支援担当訪問では、しっかりしたよいシステムであるとの評価をいただいた。 ■施設の老朽化と事故防止。 ◎校門が強風により倒れないよう工事を行った。 | A6 | <ul style="list-style-type: none"> ・とてもよい取組状況と評価する。 ・通学路でも歩道のついていないところも多いので、児童に繰り返し、危険箇所を教える。 |
| | 17 | 学校は、個人情報の管理や会計事務等を適切に行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教材費、学年費は金融機関引落としをする。 ・現金は8時半までに書庫に保管し即日入金または、支払いをする。 | 4.00 | | A6 | |
| | 18 | 学校は、登下校の安全指導を積極的に行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・登校指導、一斉下校、通学班会議、課題がある場合には臨時の会議を行い、安全についての意識をもたせる。 | 3.81 | | A5 B1 | |
| VII 家庭・地域との連携 | 19 | 学校は、学校応援団等地域や保護者と連携した教育活動に取り組んでいる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校応援団の派遣を計画的に行う。 ・北サポとの連携を図る。 | 3.71 | <ul style="list-style-type: none"> ■HPの更新。教師の働き方改革との両立。 ■連携を活かした児童支援。 ◎メール配信により、校務負担軽減が図れた。 ◎学校だよりの開封率は99%であった。 ■学校だよりの、学年だよりの各種たよりの開封率と実際に中身を読んで理解しているかの確認。 ◎今年度より、保育所、幼稚園との交流会を復活させた。 | A5 B1 | <ul style="list-style-type: none"> ・とてもよい取組状況と評価する。 ・保護者アンケートで「学校・学年だよりのホームページに目を通しているか」の問いに大体できていたが95%以上なのでわかりやすい表現にしていれば理解されているものとしてよいと思う。 ・音楽朝会は短時間であるが、充実してとてもよかった。児童に感想を聞いて、舞台上がっている子供たちも楽しそうだった。保護者公開は賛成。 ・学校だよりはHPだけなのか。各家庭への印刷物はないのか。 ・入学する児童を対象に1年生のクラスを授業参観するのはどうか。 |
| | 20 | 学校は、学校だよりの学年だよりのHP等教育活動を公開して説明責任を果たしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各学年1か月に2回のHP更新をする。欠席の場合オンラインを用い、可能な限り授業の公開を行う。 ・学校だよりの連絡メールにて配信する。 ・学校だよりの内容に「数値」を取り入れる。 ・音楽朝会の保護者公開を行う。 | 3.47 | | A5 B1 | |
| | 21 | 学校は、幼、保、小、中の連携を活かした教育活動に努めている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・小1プロブレム、中1ギャップを最小限に抑える連携をする。 ・訪問を実施する。 | 3.65 | | A2 B4 | |